



素直な心で

校長 越智 宏明

早いもので1学期も最後の月となり、後数日で夏休みを迎えようとしています。

6月は、学校総合体育大会に加え3年生は修学旅行、2年生は未来くるワーク、1年生は防災フィールドワークと大きな行事の続いた1か月となりました。

学校総合体育大会では至る所で大原中生の大旋風を目の当たりにしました。多くの部活動が県大会出場を果たすことができましたし、惜しくも敗れた部も最後の最後まで勝負をあきらめないその姿勢に熱い感動を覚えました。

6月13日から2泊3日で行われた修学旅行では、例年のない猛暑の京都・奈良・大阪の街を3年生の生徒たちと一緒に汗だくになりながら回りましたが、これも良い思い出となりました。班行動の生徒たちと行く先々で出会ったのですが、生徒たちの方から私を見つけ、楽しそうに大きく手を振ってくれる姿が微笑ましかったです。

今回の修学旅行は、例年のものとは異なり、奈良の観光がメインとなりました。普段は短時間で忙しく回る東大寺や唐招提寺、法隆寺といった天平時代の遺構をゆっくりと巡ることで、古人の息吹を感じることができたのではないのでしょうか？

修学旅行最終日、朝5時前に起床し、生徒たちと一緒にまだ観光客のいない奈良公園を散策しました。

東の空が夜明け前の陽光で幻想的な紫色に染まる中、普段は多くの観光客や修学旅行生で賑わう奈良公園は静寂に包まれていました。鹿が砂利を踏むカツカツという音だけが響いています。空気もなぜかすっきりと澄んでいて神聖な気持ちになりました。生徒たちも同じ空気を感じたのでしょうか、話をせずに黙って歩いていきます。

清々しい空気を吸ったせいでしょうか、突然私は、「あ～、この子たちと一緒にいられて幸せだあ！」と感じました。大原中学校に着任して3か月、子どもたちからたくさんの元気と笑顔をもたらしていたことに心から感謝を覚えました。日常の教室や廊下で、昼休みの校長室で、学校総合体育大会の試合会場など色々な場所で子どもたちはいつも明るく私に声をかけてくれました。その声に自分自身、どれだけ励まされてきたことか！朝焼けの光の中で、大原中の生徒たちのことがより一層眩しく、そして誇らしく思えたのです。

朝の空気は人の心を素直にしてくれる不思議な作用があるようです。朝の空気を胸に一杯吸って、楽しいことは楽しい、好きなものは好きだと大声で言える幸せ！生徒の皆さん、特に3年生は、いよいよ進路という大きな分かれ道を前に大いに悩むことでしょうか。悩むことはとても大切です。なぜなら、悩むことは立ち止まることなく、前に進むための重要なステップだから。しかしいくら悩んでも答えが出ない時は、シンプルに「自分の『好き』は何か」、「どうすることが自分にとっての幸せか」を基準に考えてみては如何でしょうか？素直な心で自分の好きなことを「好き」と言えるようになれば、本当に自分のやりたいことが見えてくるかもしれません。

今回の修学旅行、素直な心で私がもう一つ感じたこと、やっぱり一人旅は苦手です。美味しいものを食べた時「美味しい！」と、美しい景色を観た時「美しい！」と大声で叫んで、それを誰かと共感したく思います。そういった意味でも、6月の学校総合体育大会や修学旅行で、大原中の生徒たちとたくさんの感動を共有できたことは、自分にとってこの上ない感動でした。

夏休みが終わると、「大原中学校2024」というドラマのシーズン2が始まります。子どもたちと一緒に我々教職員も一緒に成長し、更に感動的なドラマと一緒に創っていきたいと思います。

2学期も大原中学校へのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



修学旅行3日目、朝5時に起床して生徒たちと一緒に奈良公園を散歩しました。普段は観光客で賑わう二月堂も、大原中生たちの貸切でした！